

結果の概要

～平成27年4月分～

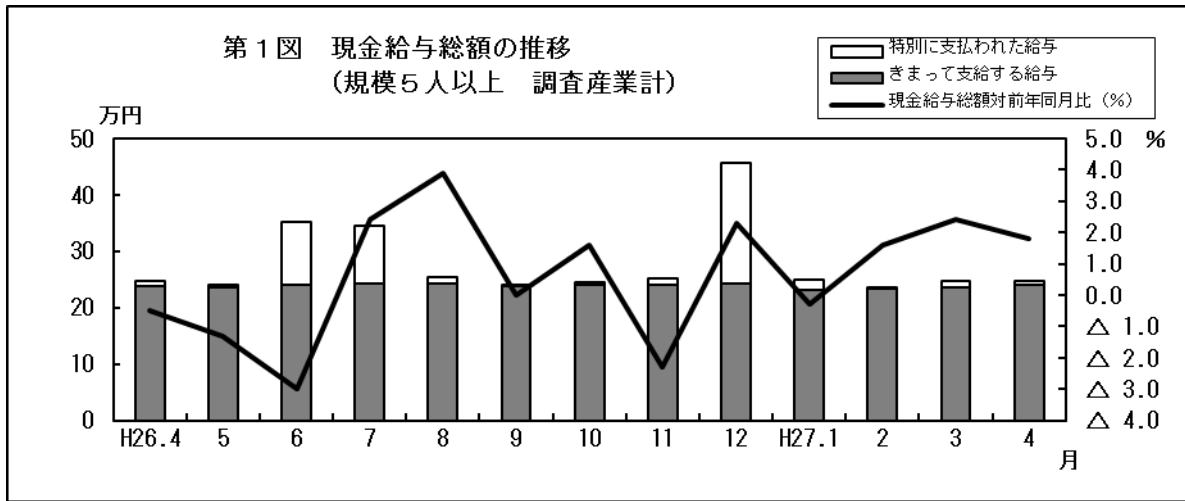
1 賃金の動き

4月分の調査産業計の1人当たりの月間現金給与総額は、前年同月比1.8%増の246,552円（規模30人以上では、0.4%増の261,040円）となった。（第1図、第1・2表）

また、きまって支給する給与（定期給与）は、前年同月比2.7%増の239,674円（規模30人以上では、2.2%増の254,805円）であった。（第1・2表）

きまって支給する給与のうち所定内給与は、前年同月比2.3%増の221,173円（規模30人以上では、2.2%増の234,232円）であった。（第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者の現金給与総額は、341,963円（規模30人以上では、348,670円）、パートタイム労働者は、99,759円（規模30人以上では、110,144円）であった。（表20・21表）



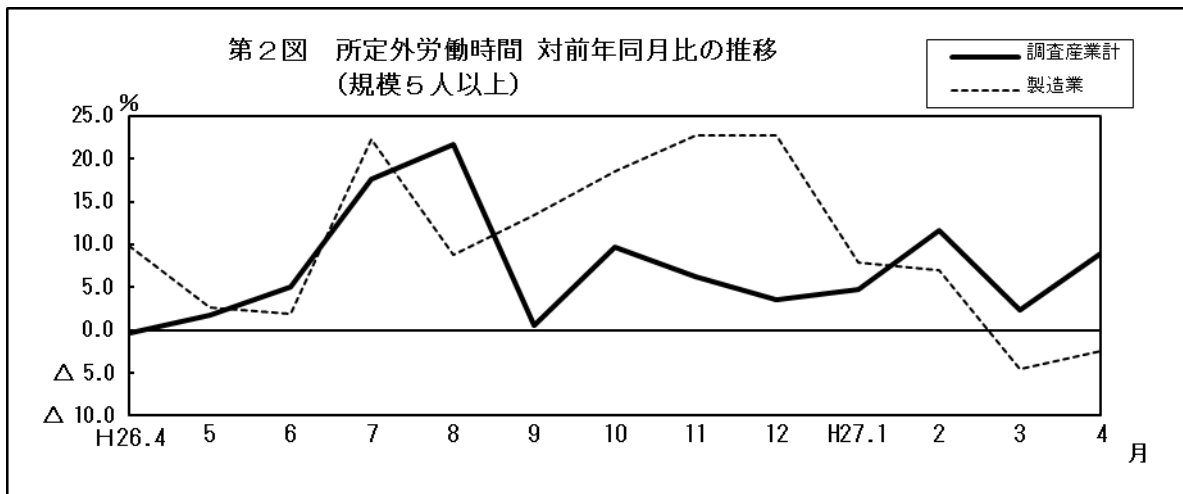
2 労働時間の動き

4月分の調査産業計の月間総実労働時間は、前年同月比3.5%増の145.2時間（規模30人以上では、3.5%増の148.3時間）となった。（第1・2表）

また、所定外労働時間は、前年同月比9.0%増の11.5時間（規模30人以上では、6.5%増の12.5時間）であった。（第2図、第1・2表）

製造業の所定外労働時間は、前年同月比2.4%減の16.9時間（規模30人以上では、8.6%減の17.8時間）であった。（第2図、第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者の総実労働時間は、180.7時間（規模30人以上では、178.2時間）、パートタイム労働者は、90.6時間（規模30人以上では、96.8時間）であった。（表20・21表）



3 雇用の動き

4月分の調査産業計の推計常用労働者数は、規模5人以上で前年同月比0.9%増の2,054,266人（規模30人以上では、1.6%増の1,190,212人）となった。製造業では、前年同月比0.7%減の385,993人（規模30人以上では、0.2%減の274,949人）であった。（第3図、第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者数は1,249,266人（規模30人以上では、755,490人）、パートタイム労働者数は805,000人（規模30人以上では、434,722人）となり、常用労働者中のパートタイム労働者の比率は、調査産業計で39.2%（規模30人以上では、36.5%）であった。（第1・2・20・21表）

